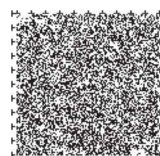
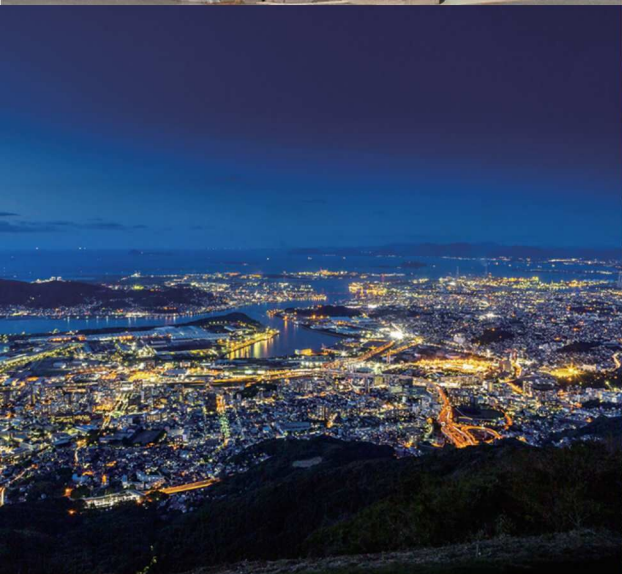




県政のしおり 2025



はじめに

福岡県は、充実した交通インフラ、アジアとの近接性、優れた技術を持つ多くの企業や豊富な人材を有し、新鮮な海の幸、山の幸に恵まれ、全国に誇る農林水産物も数多くあります。

これらの強みを生かして、企業誘致、輸出の拡大、観光誘客などを進めるとともに、半導体や宇宙ビジネスなど成長産業の育成にも取り組み、国内、そして世界から選ばれる福岡県を目指します。

また、誰もが住み慣れたところで働く、長く元気に暮らす、子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくりを一層進めます。

こうした取り組みにより、本県を九州のリーダー県として飛躍、発展させ、誰もが安心してたくさんの笑顔で暮らせる福岡県にしていきたいと思います。

この冊子は、県のすがたや施策などを分かりやすく紹介したものです。福岡県についての理解を深めていただければ幸いです。



福岡県知事 服部 誠太郎

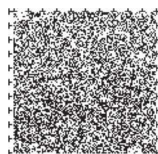
目次



- る り ざんしろうぼうじ
①瑠璃山正法寺(飯塚市)
いまむらてんしゅうどう
②今村天主堂(大刀洗町)
さくらやま
③血倉山(北九州市)
なかやまおふじ
④中山大藤(柳川市)
のこのしま
⑤能古島(福岡市)
みやじだけしんじや
⑥宮地嶽神社(福津市)
おんががわすいげんち
⑦遠賀川水源地ポンプ室(中間市)
みついでら
⑧三井寺(田川市)

- 県庁案内～ようこそ県庁へ～ 02
- 福岡県の財政と主要施策 03
- 福岡県のあゆみ 05
- 福岡県のすがた 06
- 福岡県の市町村 07
- 福岡県の商工業 08
- 福岡県の農林水産業 09
- 福岡県の観光 11
- 福岡県の世界遺産 12
- 福岡県の伝統工芸品 13

このマークは目の不自由な方
などが使う音声コードです



県章



梅の花を形どり、県の発展と県民の融和をあらわしています。昭和41年5月10日公募によって県が決めました。

県の花・うめ



昭和29年3月19日NHK植物友の会が太宰府の梅にちなんで決めました。

県の鳥・うぐいす



昭和39年7月3日公募によって県が決めました。

県の木・つつじ



昭和41年9月5日みどりのニッポン全国運動で決めました。

県庁案内～ようこそ県庁へ～

福岡県庁は隣接する東公園と一体となった環境をつくりだすために「水と緑の中の県庁」をテーマに、昭和56年に建てられました。庁舎は、議会棟、行政棟、警察棟に分かれています。



県庁全景

警察棟

行政棟

議会棟

東公園

棟 名		構 造	延床面積(㎡)	高さ(m)
議会棟	議場棟	地上4階・塔屋1階建	3,943.55	29.80
	事務棟	地下1階・地上4階・塔屋1階建	10,080.28	27.85
行政棟		地下3階・地上11階・塔屋1階建	77,082.21	48.20
警察棟		地下1階・地上6階・塔屋2階建	38,759.61	34.65

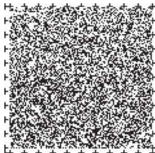
県庁舎のおいたち



旧県庁舎

跡地には、国際・文化・情報の交流拠点施設「アクロス福岡」が建つ

- 明治4年7月 廃藩置県
下名島町会所の藩庁を県庁とする
- 明治4年9月 県庁を福岡城内に移転
- 明治9年7月 県庁を天神町に移す(木造、一部洋風漆喰塗壁造り)
- 明治44年7月 旧県庁舎本館新築工事に着手
(木造れんが造り2階建、地下室付一部3階建)
- 大正4年2月 旧庁舎本館竣工
- 昭和4年7月 旧庁舎西別館竣工
(鉄筋コンクリート造り5階建地下付)
- 昭和27年12月 旧庁舎南新館竣工
(鉄筋コンクリート造り4階建)
- 昭和34年2月 旧庁舎東別館竣工
(鉄筋コンクリート造り地下1階地上5階建)
- 昭和52年7月 議会で「県庁舎の位置を変更する条例」を
議決、東公園への移転確定
- 昭和53年11月 県庁舎建設工事着工
- 昭和56年11月 4日に竣工式を行い、16日開庁



福岡県の財政と主要施策 (令和7年度)

令和7年度当初予算編成の考え方

未来への礎を築き、飛躍・発展する福岡県へ 2兆1,878億円 (対前年度比557億円、3%の増)

一般会計歳入歳出規模

- 人を育て、人を惹きつけるまちをつくる
- 産業を育て、はたらく場を広げる
- 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る



福岡県の予算

検索

人を育て、人を惹きつけるまちをつくる

「子育て」を応援

- 第3子以降の保育料を無償化 5億3,409万円
多子世帯の経済的負担や3人以上の子育て世帯の減少を踏まえ、第3子以降の保育料の無償化に取り組む市町村に対し県が独自に補助
- 育児を取り共育てをする「よかパパ」を応援 6,878万円
・ 中小企業における男性従業員の育児取得率100%を目指す行動計画策定を支援
・ 家事・育児の実践事例などをまとめた「パパノートブック」を配布し、男性の積極的な育児参加を応援

「こども」の健やかな成長を応援

- 未来子どもチャレンジ応援プロジェクトを推進 2億5,845万円
・ 仕事や科学、工作などさまざまな体験ができる子ども体験フェスティバルを県内各地で開催
・ 小学校高学年から中学生までを対象に、オーストラリアでのホームステイ体験を実施
・ 高校生が海外の大学生と自分の将来や世界の未来について議論する「福岡未来創造キャンブ(On Your Mark!)」を開催
- 県立高校の体育館等へのエアコン設置を推進 1億524万円
生徒の健康を守り、災害時における避難所環境の充実を図るため、体育館や特別教室・食堂・厨房へのエアコン設置に向けた設計を実施
- 県立学校のトイレの快適性向上を推進 3億5,333万円
県立高校や特別支援学校のトイレに温水洗浄便座を設置

「女性」の活躍を応援

- 働く女性の健康を守るための取り組みを推進 730万円
・ 生理や更年期といった健康課題による望まない離職などを防ぐため、健康とキャリアを両立するためのお役立ち情報をSNSで発信
・ 女性社員の健康課題に取り組む企業にコンサルタントを派遣し、収集した好事例を女性の活躍推進ポータルサイトで発信

年齢や障がいの有無、国籍を問わず「すべての人」の活躍を応援

- 就職氷河期世代の正規就労を支援 1,237万円
・ 職業体験ブースを設置して建設・介護・保安・農業などの合同会社説明会を開催
・ 高等技術専門学校において最先端技術訓練の実施に向けたカリキュラムを作成

社会を支える「担い手」を育成

- 看護学生の県内就業を促進 8,405万円
看護の修学資金を大学や専門学校、高校の看護専攻科の学生に貸与
- 看護職員の復職を後押し 670万円
子育てなどで一旦現場を離れた方を対象に採血や輸血ポンプの取り扱いなどの実践的な研修を実施

人とまちを元気にする

- 世界を見据えた県内アスリートを育成 426万円
アクション福岡を拠点とした国内最高峰のトレーニングセンターの構想を検討
- 将来の文化芸術を担う若手芸術家を育成 4,657万円
文化芸術活動の担い手を育成・支援する「福岡県アーツカウンシル(仮称)」の設立検討委員会を設置。若手芸術家の活動を支援

「住みつけたい、住んでみたいまち」をつくる

- 花あふれる豊かな県づくりを推進 1億724万円
魅力あるまちをつくるため、「花による美しいまちづくりコーディネーター」の石原和幸氏と連携し、市町村の特色を活かした道路・公園などの花壇の整備を支援
- 交通空白地域の解消を推進 1,555万円
コミュニティバスの広域運行や公共ライドシェア導入などに取り組む、市町村に対する研修会、専門アドバイザー派遣の実施

〈ワンヘルスとは〉

ワンヘルス(One Health)とは、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方です。私たちが健康に暮らしていくためには、地球に暮らす動物、そして地球自身も健康である必要があります。本県では、ワンヘルスを実践するため、全国初となる「福岡県ワンヘルス推進基本条例」の制定をはじめ、ワンヘルスフェスタの開催やワンヘルス教育、調査研究の実施など、さまざまな取り組みを行っています。



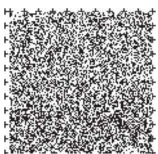
FUKUOKA ONE HEALTH

ワンヘルスポータルサイト



福岡県の基本方針

- 人獣共通感染症対策
- 人と動物の共生社会づくり
- 薬剤耐性菌対策
- 健康づくり
- 環境保護
- 環境と人と動物のより良い関係づくり



産業を育て、はたらく場を広げる 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

県経済の原動力「中小企業」の成長を支援

■ 適正な価格転嫁を進め、持続的な賃上げを推進 1,167万円



「賃金と物価の好循環」の実現に向け、「価格転嫁円滑化推進フォーラム」や業界向け講習会を実施

価格転嫁円滑化推進フォーラム

成長の起爆剤となる「スタートアップ」を育成

■ スタートアップエコシステムの形成を強力に推進 5,055万円



県のスタートアップ支援拠点「グローバルコネクト福岡」を中心として資金調達、ビジネスマッチング、海外展開を支援
「グローバルコネクト福岡」支援内容
 ・毎月第3木曜日、スタートアップの資金調達やビジネスマッチングを支援するイベント「F★Pitch」を開催
 ・海外展開セミナーや海外バイヤーとの商談会開催、国別、分野別の専門家によるアドバイス
 ・事業の成長を支援する高度経営人材とのマッチング
 「グローバルコネクト福岡」ロゴ

「半導体(グリーンデバイス)産業」を振興

■ 超集積半導体の産業化を推進 2,427万円



本県が持つ2つの半導体研究開発支援機関を「福岡超集積半導体ソリューションセンター(仮称)」に統合し、半導体後工程の開発支援力を強化

福岡超集積半導体ソリューションセンター(仮称)

生産力を強化し「強い農林水産業」を実現

■ 強い農業構造を確立 1億5,692万円



経営規模拡大に取り組む農業者に対し、経営力向上や経営面積拡大を支援

大規模農場のイメージ

食の王国・福岡の魅力を高め、「観光産業」を振興

■ 県内温泉地への誘客を強化 4,390万円



・「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を福岡空港国際観光案内所に設置
 ・夜間・早朝イベントを開催し、温泉地ににぎわいを創出

原鶴温泉

「環境」を守り、未来につなぐ

■ 「プラスチックRe:bornプロジェクト」を実施 841万円



・製造業における再生プラスチック使用のニーズやプラスチックの排出状況を調査
 ・プラスチックの資源循環のため、事業者や研究機関等による共同研究を支援



プロジェクトを手がける
 (公財)福岡県リサイクル
 総合研究事業化センター

「ワンヘルス」の取り組みをみんなで推進

■ みんなでやろうよ!身近なワンヘルスの取り組みを推進 584万円



県民自らが身近なワンヘルスの取り組みを話し合い、今後の取り組みを県民に提案する「ワンヘルス未来会議」を開催

会議でのグループワークのイメージ

「防災・減災」対策を強化

■ 地震・津波に対する備えを強化 6,225万円



・海域活断層を震源とする地震の被害想定調査を実施
 ・「ふくおか防災ナビ・まもるくん」に地域別想定震度を掲載
 ・津波による被害想定のための浸水想定調査を実施

「ふくおか防災ナビ・まもるくん」

犯罪を防ぎ、「生活の安全」を守る

■ 暴力団、トクリュウの壊滅に向けた対策を強化 7,946万円



・防犯アプリ「みまもっち」に各種詐欺を動画で疑似体験できる機能を追加
 ・被疑者の早期検挙に向け、防犯カメラ捜査などに用いる画像解析装置を導入
 ・犯罪組織から資金を剥奪するため、集団民事訴訟の費用などを支援

「みまもっち」

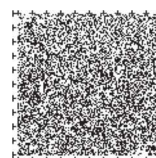
「困難を抱える人」を支援

■ 不登校児童生徒を地域総がかりで支援 5,447万円

地域住民、PTA、NPOなどとの連携により、不登校児童生徒が学習や体験活動を通じて社会的自立心を育むサポートスポットを設置

■ 県立学校におけるいじめ重大事態への対応を強化 916万円

・学校だけでは解決が困難な問題に対応するため、専門家を派遣
 ・いじめ重大事態調査委員会を設置した学校に、第三者委員として、専門家を派遣

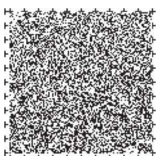


福岡県のあゆみ

西暦	西暦	西暦
1871	明治4	▲ 廃藩置県、初の知事に有栖川宮熾仁親王 福岡は7県を福岡・三潴・小倉の3県に統合
1873	6	▲ 筑前竹槍一揆が起こる
1876	9	▲ 小倉県、三潴県を統合し、ほぼ現在の福岡県域確定 ▲ 秋月の乱が起こる
1879	12	▲ 第1回福岡県会開会
1889	22	▲ 市制・町村制施行、福岡・久留米両市誕生 ▲ 九州初の陸蒸気、博多〜千歳川(筑後川)開通
1897	30	▲ 八幡製鉄、遠賀郡八幡村に開業
1899	32	▲ 福岡市で電話業務開始
1903	36	▲ 京都帝国大学福岡医学大学(現 九州大学)設立
1907	40	▲ 福岡市で初めて自動車走る
1909	42	▲ 門司〜鹿児島間鉄道開通
1910	43	▲ 福岡市で初めて市内電車走る
1912	大正1	▲ 飛行機(舞鶴号)福岡城外で九州の空を初めて飛ぶ
1920	9	▲ 第1回国勢調査(県人口2,188,249人で全国第5位)
1923	12	▲ 全国初の県立女子専門学校(現 福岡女子大)福岡市に開校
1927	昭和2	▲ 普通選挙法による初の福岡県議会議員選挙
1942	17	▲ 関門海底鉄道トンネル開通
1948	23	▲ 第3回国民体育大会、福岡県で開催
1952	27	▲ 米国領事館、福岡市に開設
1958	33	▲ 関門国道トンネル開通
1962	37	▲ 若戸大橋開通
1963	38	▲ 北九州5市合併、政令指定都市北九州市発足
1966	41	▲ 韓国総領事館、福岡市に開設
1972	47	▲ 福岡市、政令指定都市となる
1973	48	▲ 関門橋(全長1,068メートル)開通
1975	50	▲ 国鉄山陽新幹線、岡山〜博多間開通
1981	56	▲ 米国ハワイ州と姉妹提携 ▲ 福岡県新庁舎落成
1984	59	▲ 筑後大せき完成
1985	60	▲ 中国総領事館、福岡市に開設
1987	62	▲ 中国との間に定期航空路
1988	63	▲ 県の当初予算1兆円を突破
1989	平成1	▲ 福岡市でアジア太平洋博覧会開催
1990	2	▲ 第45回国民体育大会開催 ▲ 第26回全国身体障害者スポーツ大会開催
1992	4	▲ 第43回全国植樹祭開催 ▲ 中国江蘇省と友好提携 ▲ 福岡県立大学開校 ▲ オーストラリア領事館、福岡市に開設
1993	5	▲ 福岡県文化賞創設
1994	6	▲ 異常渇水により県民生活や農作物等に大打撃
1995	7	▲ ユニバーシアード福岡大会開催 ▲ 国際・文化・情報の交流拠点「アクロス福岡」オープン
1996	8	▲ 福祉・女性・人権の活動拠点「クローバープラザ」オープン ▲ 福岡県民スポーツ栄誉賞創設
1997	9	▲ 国連人間居住センター(ハビタット)福岡事務所開設 ▲ アジア開発銀行福岡総会開催
1998	10	▲ 福岡県の人口500万人を超える

西暦	西暦	西暦
1999	11	▲ 福岡空港新国際線旅客ターミナルオープン
2000	12	▲ 九州・沖縄サミット福岡蔵相会合開催 ▲ アジア・太平洋環境大臣会議in北九州開催 ▲ 福岡県県民栄誉賞創設 ▲ オーストラリア領事館、総領事館へ昇格
2001	13	▲ 福北ゆたか線電化開業
2003	15	▲ いちご「あまおう」本格生産開始 ▲ 海峡ドラマシップオープン
2004	16	▲ 第19回国民文化祭・ふくおか2004(愛称:とびうめ国文祭)開催
2005	17	▲ 福岡県西方沖地震発生 ▲ 九州国立博物館開館 ▲ 第18回全国健康福祉祭ふくおか大会(ねんりんピックふくおか2005)開催
2006	18	▲ 新北九州空港開港 ▲ 北部九州自動車100万台生産達成 ▲ タイ・バンコク都との友好提携
2007	19	▲ インド・デリー準州との友好提携
2008	20	▲ ベトナム・ハノイ市との友好提携 ▲ 九州国立博物館で日中韓首脳会議開催
2009	21	▲ ベトナム総領事館、福岡市に開設 ▲ ラーメン用小麦「ラー麦」を使ったラーメン、県産米「元気つくし」販売開始
2010	22	▲ 全国初となる福岡県暴力団排除条例施行
2011	23	▲ 九州新幹線鹿児島ルート全線開通 ▲ 「グリーンアジア国際戦略総合特区」指定
2012	24	▲ 九州北部豪雨発生 ▲ 福岡共同公文書館開館
2013	25	▲ 九州芸文館開館 ▲ 「ななつ星 in 九州」運行開始
2014	26	▲ 第1回「福岡駅伝」開催
2015	27	▲ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録
2016	28	▲ 東九州自動車道全線開通 ▲ 「G7北九州エネルギー大臣会合」、「ライオンズクラブ国際大会」、「One Health」に関する国際会議開催 ▲ 「博多祇園山笠」「戸畑祇園大山笠」ユネスコ無形文化遺産登録
2017	29	▲ 平成29年7月九州北部豪雨災害発生 ▲ 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産登録 ▲ 第37回全国豊かな海づくり大会開催
2018	30	▲ 在福岡タイ王国総領事館開設 ▲ 「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会(KOUGEI EXPO)」開催
2019	31	▲ ラグビーワールドカップ2019日本大会開催
令和1		▲ 福岡空港の民間委託開始 ▲ 「G20財務大臣・中央銀行総裁会議」開催 ▲ 全国初となる福岡県部落差別解消推進条例施行 ▲ 新型コロナウイルス感染症の発生
2020	2	▲ 全国初となる福岡県ワンヘルス推進基本条例施行
2021	3	▲ 「2021世界体操・世界新体操選手権北九州大会」開催
2022	4	▲ 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会が福岡市で開催 ▲ 新たな「福岡国際マラソン2022」が開催
2023	5	▲ 福岡県アンテナレストラン「麹町なだ万 福岡別邸」がオープン ▲ 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更 ▲ 福岡県半導体リスキリングセンターがオープン
2024	6	▲ JR日田彦山線BRT「ひこぼしライン」が開業 ▲ 「金融・資産運用特区」に選定

※暦年表記をしています。



福岡県のすがた

全国から見た福岡県

	区分	順位	福岡県	全国	単位	調査年月	資料出所
(土地)	面積	29	4,988	377,976	km ²	R7.1	国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
(人口)	人口	9	5,135	126,146	千人	R2.10	総務省統計局「国勢調査」
	人口増加率	7	0.7	-0.7	%		
	世帯数	9	2,318	55,704	千世帯		
	人口密度	7	1,030	338	人/km ²		
	平均寿命	男 女	27 21	81.38 87.70	歳	R2	厚生労働省「都道府県別生命表」
(経済)	県内総生産(名目)	9	19,457	558,778	十億円	R3	内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算」
	一人当たり県民所得	37	2,733	3,330	千円		
	農業産出額	17	2,096	95,543	億円	R5	農林水産省「生産農業所得統計」
	製造品出荷額等	10	89,519	3,020,033	億円	R3.6	総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
	海上貨物	輸出	4	19,448	千t	R5	国土交通省「港湾統計(年報)」
		輸入	10	31,476			
	卸売業年間販売額	4	164,203	4,016,335	億円	R3	総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
	小売業年間販売額	8	56,780	1,381,804	億円		
(学校教育)	大学(国・公・私)数	6	34	813	校	R6	文部科学省「学校基本調査」
	短期大学数	3	17	297			
(労働)	産業別就業割合	第1次産業	38	2.4	%	R2.10	総務省統計局「国勢調査」
		第2次産業	40	19.9			
		第3次産業	5	77.7			
(保健)	医療施設 (人口10万人当たり)	病院	16	8.9	施設	R5.10	厚生労働省「医療施設調査・病院報告」
		歯科診療所	3	59.6			
	医療関係従事者 (人口10万人当たり)(従業地による)	医師	8	326.9	人	R4.12	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」
		歯科医師	3	111.5			

福岡いろいろ全国ランキング

1位

いちごの販売単価

【福岡県】1,683円/kg
【全国】1,460円/kg



*全国単価は主産県10県の平均
2024年 福岡県農産物産出額調査

2位

甘柿の栽培面積

【福岡県】698.7ha
【全国】4,427.6ha
【全国シェア】15.8%



2024年 特産果樹生産動態等調査(農林水産省)

1位

たけのこの生産量

【福岡県】4,485トン
【全国】16,528トン
【全国シェア】27.1%



2023年 特用林産物産出統計(林野庁)

2位

ガーベラ(切り花)の出荷量

【福岡県】1,740万本
【全国】12,060万本
【全国シェア】14.4%



2023年 花き生産出荷統計(農林水産省)*ガーベラの作付面積も10.5haで全国2位

2位

小麦作付面積

【福岡県】16,400ha
【全国】231,800ha
【全国シェア】7.1%



2024年 作物統計(農林水産省)

3位

さわら類漁獲量

【福岡県】796トン
【全国】10,269トン
【全国シェア】7.8%



2022年 漁業・養殖業生産統計(農林水産省)

農林水産業

1位

木製棚、戸棚の出荷金額

【福岡県】324.6億円
【全国】1,394.9億円
【全国シェア】23.3%



2位

花むしろ、ござの出荷金額

【福岡県】1.7億円
【全国】4.9億円
【全国シェア】33.8%



1位

たんすの出荷金額

【福岡県】28.5億円
【全国】112.4億円
【全国シェア】25.3%



2位

ちょうちんの出荷金額

【福岡県】17.3億円
【全国】60.6億円
【全国シェア】28.6%



1位

ロボット、同装置の部分品等の出荷金額

【福岡県】213.7億円
【全国】1,174.2億円
【全国シェア】18.2%



2位

和生菓子の出荷金額

【福岡県】267.2億円
【全国】4,745.1億円
【全国シェア】5.6%



製造業

1位

軌条の輸出量

【福岡税関支署】331,054トン
【全国】385,413トン
【全国シェア】85.9%



2023年 貿易統計(財務省)*輸出額も536.2億円で、全国1位

1位

ICの輸出額

【福岡税関支署】13,379.4億円
【全国】40,009.3億円
【全国シェア】33.4%



2023年 貿易統計(財務省)

2位

二輪自動車・原動機付自転車の輸出量

【福岡税関支署】20.9万台
【全国】83.9万台
【全国シェア】24.9%



2023年 貿易統計(財務省)*輸出額も1743.9億円で、全国2位

1位

自動車用タイヤ及びチューブの輸出量

【福岡税関支署】204,183トン
【全国】673,474トン
【全国シェア】30.3%



2023年貿易統計(財務省)*輸出額も1408.3億円で、全国1位

1位

鮮魚、冷蔵魚及び冷凍魚の輸出額

【福岡税関支署】306.1億円
【全国】1,374.0億円
【全国シェア】22.3%



2023年 貿易統計(財務省)*輸出額は52.740tで、全国2位

3位

国内線及び国際線の年間乗降客数

【福岡空港】2,408万人
【全国】28,421万人
【全国シェア】8.5%



令和5年 空港管理状況調査(国土交通省)

運輸・貿易

1位

たらこへの支出金額

【福岡市】4,647円
【全国】2,087円



2021-2023年平均 家計調査(総務省)
※2人以上の世帯における1世帯当たりの金額

2位

出生率(人口千人あたり)

【福岡県】6.8人
【全国】6.0人



2023年 人口動態調査(厚生労働省)

1位

さしみ盛合わせへの支出金額

【北九州市】7,148円
【全国】4,365円



2021-2023年平均 家計調査(総務省)
※2人以上の世帯における1世帯当たりの金額

3位

国指定史跡名勝天然記念物数

【福岡県】128件
【全国】3,260件
【全国シェア】3.9%



文化庁ホームページ(2024年11月1日現在)

1位

鶏肉への支出金額

【福岡市】22,143円
【全国】17,615円



2021-2023年平均 家計調査(総務省)
※2人以上の世帯における1世帯当たりの金額

2位

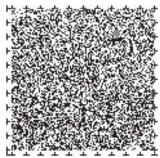
ごぼうへの支出金額

【北九州市】1,231人
【全国】973人



2021-2023年平均 家計調査(総務省)
※2人以上の世帯における1世帯当たりの金額

その他



福岡県の市町村

北九州市、福岡市の2つの政令指定都市を持つ福岡県の人口は、509万7,710人（※令和6年10月1日現在推計）です。

また、福岡県には29市、29町、2村があり、これら60市町村は地理的、歴史的、経済的特性などから、北九州、福岡、筑豊、筑後の4地域に分けられています。

※人口及び世帯数は、「令和2年国勢調査」の数値（令和2年10月1日現在）を基礎に、住民基本台帳法に基づく届出による毎月の人口と世帯の増減数を加減して推計したものです。

北九州地域

鉄鋼、自動車、先端半導体、ロボットなどの産業の集積が進み、蓄積された「ものづくり技術」を生かして地域の活性化が図られています。24時間運航可能な北九州空港があり、アジアの物流拠点として基盤整備が進んでいます。

福岡地域

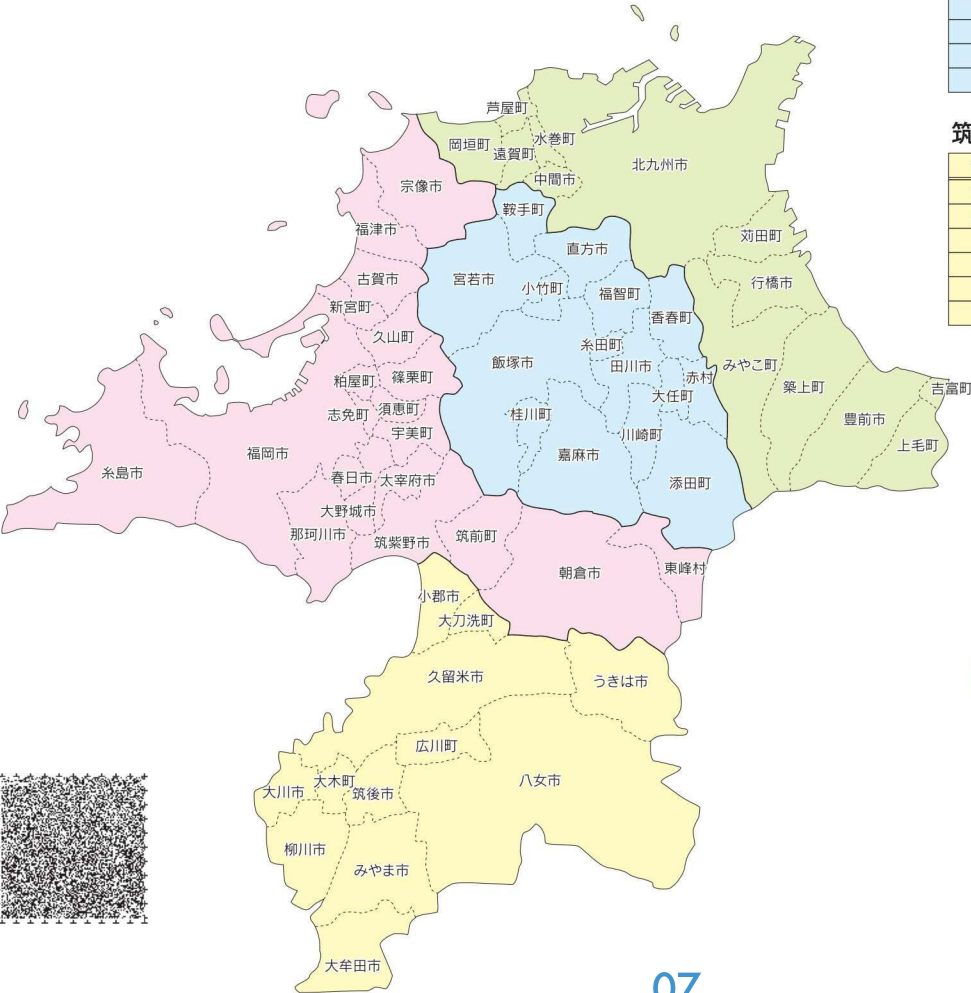
九州の管理中枢機能や第3次産業の集積が進み、西日本のリーディングゾーンとして発展してきました。九州新幹線や福岡空港、博多港など交通基盤の整備が進んでいます。

筑豊地域

石炭産業に代わる新しい産業として、自動車産業の立地が進み、自動車産業を支える人材育成が活発に行われています。理工系大学を中心にベンチャー企業や研究機関の集積を図り、新たな産業創出の拠点づくりも進められています。

筑後地域

豊かな自然と農林水産業や地場産業、商工業などの多様な産業、文化、さらに個性のある都市群など、魅力に満ちた地域です。交通・物流基盤や、生活基盤の整備を進め、地域の振興と良質な居住環境を整備しています。



北九州地域(4市9町)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
北九州市	908,109	遠賀町	18,417
行橋市	70,680	苅田町	37,946
豊前市	22,796	みやこ町	17,388
中間市	38,307	吉富町	6,334
芦屋町	12,581	上毛町	6,828
水巻町	27,653	築上町	15,925
岡垣町	30,826		

福岡地域(11市8町1村)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
福岡市	1,656,737	那珂川市	49,278
筑紫野市	105,222	宇美町	37,205
春日市	109,619	篠栗町	30,871
大野城市	103,747	志免町	46,132
宗像市	96,708	須恵町	28,997
太宰府市	72,701	新宮町	32,219
古賀市	58,341	久山町	9,295
福津市	69,094	粕屋町	48,814
朝倉市	48,137	筑前町	30,402
糸島市	100,336	東峰村	1,648

筑豊地域(5市9町1村)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
直方市	54,745	香春町	9,440
飯塚市	122,964	添田町	7,754
田川市	44,261	糸田町	7,822
宮若市	24,948	川崎町	13,822
嘉麻市	32,681	大任町	4,807
小竹町	6,627	赤村	2,531
鞍手町	14,306	福智町	19,974
桂川町	12,303		

筑後地域(9市3町)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
大牟田市	104,046	小郡市	59,312
久留米市	298,828	うきは市	26,441
柳川市	60,976	みやま市	33,612
八女市	58,253	大刀洗町	15,782
筑後市	48,462	大木町	13,380
大川市	30,774	広川町	19,566

県全体

5,097,710人
2,420,936世帯

福岡県の商工業

福岡県の中小企業は県内企業数の 99.8%を占め、そのうち小規模企業数が 83.2%を占めています。また、従業員数は県内の 77.3%を占めています。

福岡県の工業は、鉄鋼、石炭・化学等の基礎素材型産業や食料品等の生活関連型産業を中心に発展してきましたが、近年では、自動車関連産業等の加工組立型産業のウェイトが高まっています。また、食料品製造業は、豊富で良質な農林水産物が調達できることや、大消費地に近く物流環境に恵まれていることなどから集積が進んでいます。

自動車産業

福岡県には、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、日産車体九州の3つの自動車工場があり、隣の大分県にもダイハツ九州の自動車工場があります。北部九州にある4つの自動車工場の生産能力は年間 150 万台以上です。世界において、150 万台以上乗用車を作っている国は 7 か国しかありません。福岡県内には、約 600 社の関連企業があり、北部九州の自動車産業を支えています。



水素エネルギー産業

福岡県では、環境にやさしい水素の産業振興に取り組んでいます。九州大学では、水素・燃料電池に関する世界最先端の研究開発が行われ、この分野で、福岡県は世界から注目されています。県では、水素の消費量が多いトラックやバスなどの商用 FCV の普及に向けて、燃料電池トラックの導入や水素ステーションの整備・運営に対する支援を行っています。県庁敷地内に設置しているものを含めて、現在、県内 9 か所に水素ステーションが設置されています。



大型FCトラック

バイオ産業

福岡県では、生物の持つ能力や性質を活かす「バイオ技術」を活用して、産業を振興しています。久留米市など筑後地域は、昔から醤油や味噌など発酵食品の製造が盛んであり、また日本酒を造る酒蔵も多くあります。この地域を中心に新しい薬や健康食品、福岡県独自のお酒などの製品が開発されたり、バイオに関係する企業が新設されたりするよう、研究開発の支援などを行っています。



福岡オリジナル吟醸酒

半導体産業

半導体は、様々な電子機械を動かすための大切な部品として私たちの暮らしを支えています。県内には、半導体の製造に関わっている企業や半導体に関する研究を行っている大学、支援機関がたくさんあり、福岡県は、このような企業、大学などといっしょに、環境にやさしい省エネルギーな半導体「グリーンデバイス」の開発・生産拠点の形成を目指しています。



近年注目が集まっている環境にやさしい省エネルギーな半導体「グリーンデバイス」

宇宙ビジネス

福岡県には、宇宙に挑戦する企業や、宇宙に関する研究を行っている九州大学、九州工業大学などがあります。福岡県では、これらの企業、大学が行う人工衛星やロケット、人工衛星からのデータを活用した新サービス、宇宙食の開発の支援を行っています。



県内宇宙スタートアップ(株)QPS研究所が開発した小型レーダー衛星
(提供: 株QPS研究所)

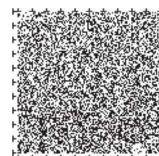
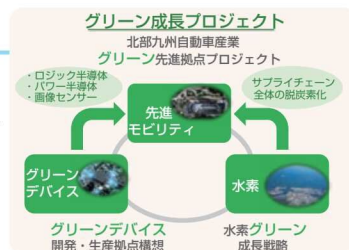
スタートアップ支援

令和 7 年春に、世界的なスタートアップ支援機関である CIC(ケンブリッジイノベーションセンター) がアジアで 2 か所目の拠点「CIC Fukuoka」を開設しました。福岡県では、「CIC Fukuoka」内に、県として初めてのスタートアップ支援拠点「グローバルコネク特福岡」を設置し、「資金調達」「ビジネスマッチング」「海外展開」「先端技術」「専門人材マッチング」などを支援する職員を配置します。スタートアップの成長を総合的に支援し、更なるスタートアップの創出や成長に繋がるグローバルなエコシステムの形成を目指しています。



グリーン成長プロジェクト

福岡県では、国が掲げる2050年のカーボンニュートラルを見据え、自動車、半導体、水素の分野において、「グリーン」をキーワードとした「グリーン成長プロジェクト」を推進しています。EVや自動運転などの「先進モビリティ」、省エネで高性能な「グリーンデバイス」、再生可能エネルギー等で作る「グリーン水素」の先進拠点の構築に取り組み、経済と環境の好循環の実現を目指します。



福岡県の農林水産業

農業

福岡県の耕地面積は 7 万 8,000ha(令和6年)で、県土の 16%を占めており、うち水田の割合が 81%(全国平均 54%)と高いのが特長です。

県では、恵まれた自然条件のもとで、多種多様な農業が営まれており、米の「夢つくし」、「元気つくし」、いちごの「あまおう」、ラーメン用小麦「ラー麦」など全国に誇れる農産物が数多くあります。

今後とも消費者の皆様においしく味わっていただける農産物の生産を推進します。

農産物



ラー麦
小麦作付面積
全国 **2** 位
(令和5年)

細麺が主流の福岡のラーメン用に開発された小麦。コシがあって歯切れが良く、ゆで伸びしにくいのが特長。



夢つくし
県で初めて開発された品種。光沢とモチモチの食感、味の良さが自慢で、ブランド米としての評価も高い県産米です。



元気つくし
夏の暑さに強く高品質な品種。一粒一粒がしっかりとツヤと粘りがあり、冷めてもおいしいと評判です。



ふくよかまる
大豆作付面積
全国 **4** 位
(令和5年)

県が育成した大豆の新品種。豆腐に加工した時に、甘みとコクがあります。また、納豆や豆乳に加工されて販売されています。



玉水
同時期に販売される他の梨よりも糖度が2度ほど高く、丸い形が特長の福岡生まれの梨。7月下旬から8月上旬に販売されます。



早味かん
果皮は緑色ですが、同時期に販売される他のみかんよりも高糖度で食味が良く、薄皮が薄いので食べやすい福岡生まれのみかん。県産露地みかんの先頭を切って9月下旬から販売されます。



秋王
甘柿作付面積
全国 **2** 位
(令和4年)

サクサクした食感で、甘みが強く、種がほとんどないことが特長の、福岡生まれの甘柿。赤みが鮮やかな「富有」も全国的に有名です。



とよみつひめ
いちご作付面積
全国 **3** 位
(令和4年)

糖度が高く、果肉が肉厚でなめらかな食感が特長の福岡生まれのいちご。ミネラルや食物繊維も豊富に含まれています。



あまおう
いちご作付面積
全国 **2** 位
(令和5年)

20年連続販売単価日本一に輝く、福岡県が全国に誇るトップブランドいちご。県内限定で生産されており、大粒で丸く、鮮やかな赤色が特長。



青ねぎ
「博多万能ねぎ」は特に有名。東京方面にも、毎日のように空輸されています。



なす
冬春なす生産量
全国 **3** 位
(令和5年)

濃い紫紺の皮まで柔らかい長なすで、アクが少ないのが特長。年間を通じて生産されています。



福岡の八女茶
全国的に広く知られる「福岡の八女茶」。中でも、伝統的な製法で生産される「八女伝統本玉露」は、平成27年に国の地理的表示(GI)保護制度の第一弾として、登録されました。



キク
キク生産量
全国 **3** 位
(令和6年)

全国でも有数のキクの産地、福岡県、中でも八女の電照菊が有名です。色や形のバリエーションが増え、アレンジメントやブライダル用にも人気が広がっています。



トルコギキョウ
トルコギキョウ生産量
全国 **3** 位
(令和6年)

花びらが愛らしくピンクや白など、カラーバリエーションも豊富。ブライダル関連など、需要が高まっています。



博多和牛
県内産の稲ワラ等の良質な飼料を食べて育った和牛で、おいしさや安全・安心を追求しています。



はかた地どり
地鶏の出荷羽数
全国 **3** 位
(令和4年)

水たぎやめ煮といった郷土料理に合うように県が開発した「はかた地どり」はコクとうまみ、歯応えが抜群。令和4年に国の地理的表示(GI)として登録されました。

ふくおかの酒「ふくさけ」

福岡県は、酒づくりが盛んで、特に筑後川中流域の城島地区(久留米市)は、多くの酒蔵が建ち並び、かつては灘、伏見に並ぶ酒どころとして数えられました。

その理由としては、古くから稲作が行われてきた西日本有数の米どころであること、そして九州最大の河川である筑後川に加え、矢部川や遠賀川といった一級河川が流れ、酒づくりに欠かせない豊かな水に恵まれていることが挙げられます。

現在でも、代表的な酒造好適米「山田錦」は全国有数の生産量を誇っており、県育成の酒米「夢一献」、国育成の「吟のさと」の生産も盛んに行われています。

県内に 65 ある酒蔵では、これらの県産酒米を使用した日本酒に加え、麦焼酎を中心とした多種多様な焼酎が醸されています。



飲酒運転は犯罪です。
飲酒運転は絶対しない、
させない、許さない、
そして見逃さない。



福岡県酒造組合
ホームページ



県内で多く栽培される「山田錦」



城島酒蔵びらき

【問い合わせ】福岡の食販売促進課
TEL 092-643-3514 FAX 092-643-3531

森林・林業

福岡県の森林面積は約22万5,000haで、県土の45%を占めています。森林は、水源かん養、土砂流出防止などの公益的機能を有しており、県民の安全・安心な生活を営むうえで重要な役割を果たしています。これらの機能は、林業が持続的に行われることで維持されることから、森林資源の循環利用を推進します。併せて、福岡県森林環境税を活用し、公益的機能が長期的に発揮できる森林づくりを推進します。また、全国有数の生産量を誇るたけのこ、ぶなしめじ、えのきたけなど、今後とも消費者の皆様においしく味わっていただける林産物の生産を推進します。

林産物 たけのこ生産量 全国1位 (令和5年)  たけのこ 全国のたけのこの生産量の約27%は福岡県。北九州、合馬地区や八女地域など、全国に誇る名産地があります。	ぶなしめじ生産量 全国3位 (令和5年)  ぶなしめじ 苦味が少なく食味が良いため、様々な料理に使えるきのこ。県内では大木町での生産が盛んです。	えのきたけ生産量 全国4位 (令和5年)  えのきたけ 料理の彩を引き立たせる色の白さと、シャキシャキとした食感が特長。食物繊維が豊富に含まれ、低カロリーでヘルシーです。
--	---	--

水産業

福岡県では異なる特徴をもつ筑前海・有明海・豊前海の海域と河川・湖沼等の内水面において、多様な漁業や養殖業が行われています。全国有数の生産を誇るマダイ・ノリをはじめ多様な水産物が水揚げされます。今後とも消費者の皆様においしく味わっていただける新鮮な水産物の生産を推進します。

水産物 マダイ県産漁獲量 全国3位 (令和5年)  天然マダイ 福岡県は全国有数の天然マダイの産地。筑前海の荒波で育つマダイは身の締まりがよく、上品な味わいが特長で、特に春と秋は脂がのり絶品。	のり養殖生産量 全国4位 (令和5年)  福岡有明のり 有明海でとれるノリは、高級ノリとして有名。豊かな香りと口溶けの良さ、舌の上に広がる旨みは格別です。	かき 牡蠣  「豊前海一粒かき」は身入りがよく、濃厚な味わいが特長。海辺のかき小屋が人気の「糸島かき」や「唐泊恵比須かき」も有名。
サワラ  筑前海や豊前海で漁獲され、成長すると全長1mを超える大型魚。寒くなるにつれ脂が乗りおいしくなります。	いっぽんやり一本槍  筑前海の漁師が一本一本つ上げたケンサキイカ。身が透明でコリコリした歯応えと独特の旨みが特長です。	アユ  「清流の女王」とも言われるアユ。川苔をたっぷり食べて育つことで、清涼感のある香りと上品な旨みをまといます。
豊前本ガニ  豊前海で漁獲されるガザミの中でも、特に身入りの良いものが「豊前本ガニ」。旨みのあるしっかりとした身と濃厚なミソが特長。		

ワンヘルス認証

福岡県では、ワンヘルスの実践が次世代の食と農につながることから、農林水産業におけるワンヘルスの取組を進めています。

その一環として、食の安全・安心や環境への配慮など、ワンヘルスの理念に沿って生産される農林水産物等を認証する「福岡県ワンヘルス認証制度」を全国で初めて創設しました。

認証を受けた商品は「認証ロゴマーク」を付けることができます。

この制度を活用して、農林水産業におけるワンヘルスの取組を県民の皆さんに周知するとともに、認証ロゴマークの付いた県産農林水産物を選んでいただくことで、「地産地消」を推進します。



福岡県ワンヘルス認証サイト



【問い合わせ】食の安全・地産地消課
TEL:092-643-3571 FAX:092-643-3573

募集中!

①ふくおか地産地消応援ファミリー

県産農林水産物を積極的に購入する家庭を募集し「応援ファミリー」として登録

②ふくおか地産地消応援の店

県産農林水産物を積極的に使用する飲食店、総菜店、旅館、ホテル、農林水産物直売所を募集し、「応援の店」として認定

③ふくおか農林漁業応援団体

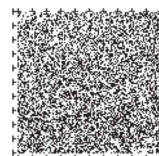
県産農林水産物の消費拡大につながる活動や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業、大学、NPO法人団体等を募集し、「応援団体」として登録

【問い合わせ】食の安全・地産地消課

TEL 092-643-3575 FAX 092-643-3573

申込み方法などはこちら→ <https://f-ouen.com/>

福岡の美味しい幸せ 検索



福岡県の観光

写真提供:福岡県観光連盟

観光スポット



①桜井二見ヶ浦・夫婦岩 (糸島市)

糸島市北部に位置する県の名勝地で夕日が美しいことから「夕日の二見ヶ浦」と呼ばれています。寄り添って夫婦のように並ぶ巨大な岩「夫婦岩」も有名です。



②門司港レトロ地区 (北九州市)

国際貿易地として栄えた門司港周辺には、開港当時の面影を残す趣のある建物が残っています。1995年に「門司港レトロ」として生まれ変わり、今では年間200万人以上の人が訪れる人気の観光地です。



③旧蔵内邸 (築上町)

明治から昭和にかけて筑豊地方を中心に炭坑を経営した蔵内次郎作、保房、次郎兵衛の蔵内家三代にわたる本家住宅です。当時の状態をよく残した豪華な住宅建築や庭園が見どころです。



④太宰府天満宮 (太宰府市)

学問の神様・菅原道真公を祀る太宰府天満宮は、全国約12,000社の天満宮の総本宮と称えられ、国内外から多くの人が祈願に訪れます。
※R5.5～本殿改修により3年間仮殿となっております。



⑤ことこと列車 (平成筑豊鉄道)

直方駅～行橋駅間を車窓に流れるのどかな風景を眺めながら、贅を尽くした列車空間と共に地産地消にこだわった絶品フレンチコースを堪能できます。車両デザインは、JR九州の「ななつ星」や「或る列車」を手掛ける水戸岡鋭治氏です。



福岡県内を手軽に周遊できるバスツアー。グルメ・絶景・歴史・文化・体験など、福岡県のもっと多様な魅力を楽しめます！



⑥柳川川下り (柳川市)

江戸時代に城下町として栄えた柳川は「水郷(水のまち)」としても知られる観光名所です。水路「掘割」を巡る川下りでは、しだれ柳や季節の花々、白壁の美しい街並みを水面から眺める贅沢な時間が過ごせます。



⑦筑後吉井白壁の町並み (うきは市)

江戸時代に宿場町として栄えたこの地域には、約250軒の歴史的な建造物がほぼ当時のまま残っています。カフェやスイーツ店、雑貨屋などが立ち並び、ゆっくり散歩するのにおすすめのエリアです。



⑧英彦山 (添田町)

古来から神聖な山として信仰を集めており、山伏の修験道の霊場としても有名です。中心部にある英彦山神宮奉幣殿は国指定重要文化財で、秋は紅葉の名所として多くの登山ファンが訪れます。

グルメ



とんこつラーメン

ストレートタイプの細麺と、豚骨のコクとうま味が凝縮されたコラーゲンたっぷりのスープが特徴。お好みで「白ごま」「紅ショウガ」「高菜」などと一緒に食べるのもおすすめです。



もつ鍋

ニンニクがきいた味噌や醤油ベースのスープに「もつ」を入れて、キャベツやニラなどの野菜、鷹の爪と一緒に煮込む鍋料理。もつを美味しく食べた後は、ちゃんぽん麺や雑炊でシメるのが定番です。



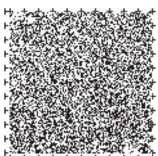
うどん

日本のうどん・そば文化は、鎌倉時代に中国大陸から博多に伝来したといわれています。ふわふわとしてやわらかな食感の麺と、薄口醤油で仕上げた透明な出汁が特徴で、ごぼう天や丸天のトッピングが人気です。



辛子明太子

スケトウダラの卵巣(魚卵)を、唐辛子を使用した調味液に漬け込んだもので、福岡土産の定番です。そのままご飯のお供にしたり、酒の肴にしたり、他の食材と合わせて調理したりなど、さまざまな味わい方ができます。



「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

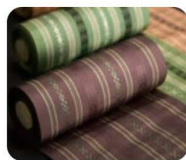


福岡県の伝統工芸品～歴史と風土が育みました～

経済産業大臣指定伝統的工芸品（7品目）

この指定は、経済産業大臣によって定められた要件（主として日常生活で使用、主要工程が手作り、100年以上前から続く技術や技法など）を持つ工芸品に与えられます。

福岡県内では7品目がこの指定を受け、伝統にふさわしい完成度の維持に努めています。



1 博多織



2 博多人形



3 久留米紬



4 小石原焼



5 上野焼



6 八女福島仏壇



7 八女提灯

福岡県知事指定特産工芸品・民芸品（37品目）

この指定は、福岡県で製造される郷土色が豊かで、一定の伝統性を有する（技術・技法が50年以上の歴史があり今日まで継続など）工芸品・民芸品に与えられます。

現在、37品目が指定され、福岡県内のみならず、日本中の人々に愛されています。



8 孫次風



9 小倉織



10 八朔の馬



11 芦屋釜



12 津屋崎人形



13 福岡積層工芸ガラス



14 博多曲物



15 博多鋏



16 博多張子



17 博多独楽



18 博多おきあげ



19 今宿人形



20 木うそ



21 高取焼



22 甘木紋



23 杷木五月節句幟



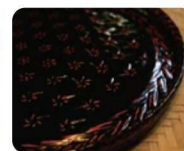
24 英彦山がらがら



25 棕櫚帯



26 久留米おきあげ



27 藍胎漆器



28 城島鬼瓦



29 筑後和傘



30 鍋島緞通



31 八女手漉和紙



32 八女石灯ろう



33 八女竹細工



34 八女矢



35 八女和ごま



36 赤坂人形



37 きじ車



38 天然樟脳



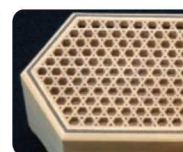
39 掛川



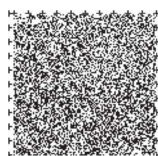
40 大川総桐箆筥



41 大川彫刻



42 大川組子



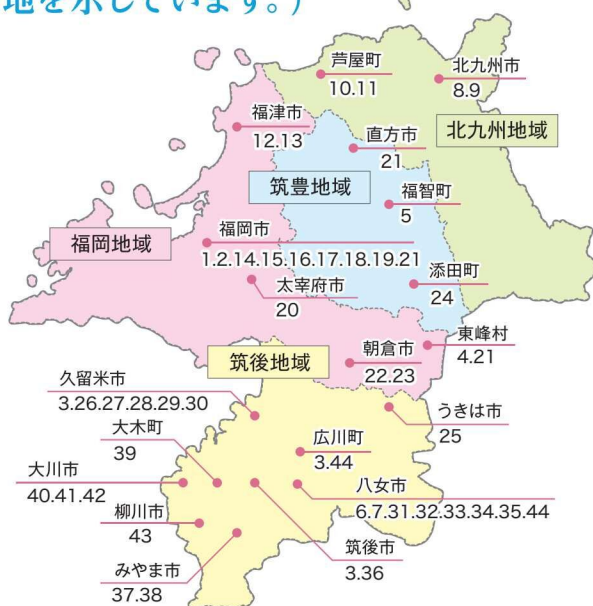
43 柳川まり



44 八女すだれ

伝統工芸品マップ

(主な生産地を示しています。)



福岡県の伝統工芸品
福岡県HP

- | | |
|--------------|------------|
| 1 博多織 | 23 杷木五月節句織 |
| 2 博多人形 | 24 英彦山がらがら |
| 3 久留米餅 | 25 棕櫚箒 |
| 4 小石原焼 | 26 久留米おきあげ |
| 5 上野焼 | 27 藍胎漆器 |
| 6 八女福島仏壇 | 28 城島鬼瓦 |
| 7 八女提灯 | 29 筑後和傘 |
| 8 孫次風 | 30 鍋島緞通 |
| 9 小倉織 | 31 八女手漉和紙 |
| 10 八朔の馬 | 32 八女石灯ろう |
| 11 芦屋釜 | 33 八女竹細工 |
| 12 津屋崎人形 | 34 八女矢 |
| 13 福岡積層工芸ガラス | 35 八女和ごま |
| 14 博多曲物 | 36 赤坂人形 |
| 15 博多鉢 | 37 きじ車 |
| 16 博多張子 | 38 天然樟脳 |
| 17 博多独楽 | 39 掛川 |
| 18 博多おきあげ | 40 大川総桐筆筥 |
| 19 今宿人形 | 41 大川彫刻 |
| 20 木うそ | 42 大川組子 |
| 21 高取焼 | 43 柳川まり |
| 22 甘木紋り | 44 八女すだれ |

福岡県の代表的な祭り

鬼夜 (久留米市)

■ 時期:1月7日



「鬼夜」は、1600年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されている祭りです。

大晦日の夜から正月7日までの「鬼会(おにえ)」の最終日に行われ、クライマックスとなる大松明廻しは、直径約1m、全長13m、重さ1.2トンの6本の大松明が締め込み姿の人たちによって支えられ、火の粉を散らしながら本殿の周りを勇壮に回ります。

川渡り神幸祭 (田川市)

■ 時期:5月第3土曜日とその翌日の日曜日



風治八幡宮 川渡り神幸祭は、県の無形民俗文化財第1号に指定されており、460年以上続く筑豊地区を代表する祭りです。

運行する神輿では日本最大級の大神輿を先頭に、幟山笠が彦山川を渡り、若衆が水を掛け合います。

この勇壮で、絢爛豪華な川渡り神幸祭が終わると、筑豊はもう夏。この祭りを合図とするかのように、田植えが始まります。

博多祇園山笠 (福岡市博多区)

■ 時期:7月1日~15日



770年以上の伝統があり、国の重要無形民俗文化財に指定されている博多を代表する勇壮な夏祭りで、平成28年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

福岡の博多部を中心に行われ、期間中は町の各所に「飾り山」が飾られます。クライマックスは15日早朝の追い山で、重さ1トンもの「昇き山」を担いだ揃いの法被に締め込み姿の男たちが博多の町を駆け抜けます。

「オイサッ、オイサッ」の勇壮なかげ声が響き、博多の町に夏本番を告げます。

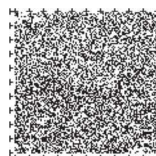
小倉祇園太鼓 (北九州市小倉北区)

■ 時期:7月第3土曜日を挟む3日間



映画「無法松の一生」でも知られ、400年以上の歴史を持つ勇壮・優美な太鼓祇園で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。まさにその名のとおり勇壮な太鼓の音が主体の賑やかな祭りで、両面打ちの太鼓の響きは腹の底にこたえる感覚を人々に与えます。

賑やかなチャンガラ(摺り鉦)と全国的にも珍しい両面打ちによる太鼓の音が、夏の小倉を祭り一色に染めます。



福岡県の見どころ

物産展示室「福岡よかもんひろば」

県庁の11階に「福岡よかもんひろば」では、県内の祭りをデザインした博多織タペストリーや伝統工芸品等の常設展示、触つて学べるコーナーに加え、企画展やイベントを随時開催しています。

大川インテリアにふれてくつろげるラウンジやカフェも併設しています。

北棟ラウンジ

多目的ルーム
ワークショップや
セミナーをする場所。

ミニステージ
手作りの作品の展示や
ミニ演奏会が可能。



大川インテリアコーナー

家具の産地で有名な「大川」の若手職人さん
たちがつくった場所。

南棟展示室

企画展示コーナー

季節やテーマに合わせて、
2～3か月ごとに県内の伝統
工芸品などを紹介。



博多織タペストリー

県の5つの祭りをデザイン
した織物。

伝統工芸品紹介コーナー

県が誇る物産や観光地を
たくさんの写真と映像で
紹介。



情報コーナー

県の人口や面積、産業などの
情報をパネルで紹介。

【問い合わせ】福岡よかもんひろば TEL 092-645-1835

まごころ製品ショップ、まごころアート FUKUOKA GALLERY

県では、障がいのある人の収入向上を図るため、「まごころ製品」の販売や「まごころアート」の活用の促進に取り組んでいます。

【まごころ製品ショップ】

障がいのある皆さんがつくる製品(パン、お菓子、縫製品、木工品など)や提供するサービス(清掃、除草、印刷、クリーニングなど)を「まごころ製品」と名付けて販売促進に取り組んでいます。

1年間に「まごころ製品」を10万円以上購入した企業等を「障がい者応援まごころ企業」として認定しています。

まごころ製品は、地下1階「まごころ製品ショップ」やオンラインで購入いただけます。



まごころ製品の一部



「まごころ製品」ロゴマーク



障がい者応援まごころ企業
シンボルマーク



まごころ製品
オンラインショップ

【問い合わせ】

まごころ製品ショップ&デスク(県庁地下1F)
TEL・FAX 092-632-7100
(まごころ製品)障がい福祉課
TEL 092-643-3264 FAX 092-643-3304
(まごころ企業)就業支援課
TEL 092-643-3593 FAX 092-643-3619

【まごころアート FUKUOKA GALLERY】

障がいのある皆さんが制作したアート作品(まごころアート)を県庁1階ロビーや地下1階から10階のエレベーターホールに展示しています。まごころアートの作品レプリカや画像データはオンラインからレンタル又は購入いただけます。



【問い合わせ】

文化振興課
TEL 092-643-3383 FAX 092-643-3347

まごころアート
FUKUOKA
GALLERYの
トップページ

福岡県の広報

●広報番組

●テレビ番組



●ラジオ番組
FM福岡「福岡県だより」

●YouTube番組



●ホームページ・SNS(公式アカウント)

●福岡県
ホームページ



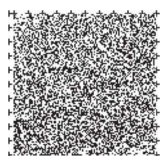
●福岡県庁
エックス
X



●福岡県庁
ライン
LINE



●YouTube
チャンネル
ふくおかインター
ネットテレビ



九州の連携する姿を分かりやすく国内外にPRするため、
「九州ロゴマーク」を作成しました。
「のれん」をモチーフに、
「九」「州」「一」の文字を組み合わせ、
「九州はひとつ」を表現しています。



編集／発行
福岡県総務部県民情報広報課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL (092) 643-3103
FAX (092) 643-3107